

令和2年度

県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要

和歌山県教育庁学校教育局県立学校教育課

〔 国 語 〕

1 出題方針

- (1) 出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている内容全般にわたるよう配慮した。
- (2) 大問 ㊦ では、漢字について、基本的な書く力、読む力が身に付いているかをみるとともに、行書の基礎的なことがらについて正しく理解できているかをみるようにした。また、敬語や古文の基礎的・基本的なことがらについて理解できているかをみるようにした。
- (3) 大問 ㊧ では、自然との共存について書かれた文章を読み、内容や筆者の考えが理解できているかをみるとともに、読み取った内容を適切に表現する力をみるようにした。
- (4) 大問 ㊨ では、将棋教室に通う小学生を描いた小説を読み、内容や登場人物の心情が的確に理解できているかをみるとともに、読み取った内容を適切に表現する力をみるようにした。
- (5) 大問 ㊩ では、二つの文章を読み比べ、表現の工夫が理解できているかをみるとともに、その工夫の効果について自分の考えをまとめ、表現する力をみるようにした。

2 学力検査の結果について

- (1) 本年度の平均点は、57.6点（満点100点）であった。
- (2) 大問 ㊦ では、基本的な常用漢字の読み書きは概ねできているが、古文の基礎的・基本的なことがらについての理解に弱さがみられた。
- (3) 大問 ㊧ では、文章全体を通した内容の理解は概ねできているが、筆者の考えをまとめたり、自分の知識や経験と関連付けて考えたりすることに弱さがみられた。
- (4) 大問 ㊨ では、文章の内容に即した語句の理解や、文章の内容の基本的な読み取りは概ねできているが、読み取った登場人物の心情についてまとめることに弱さがみられた。
- (5) 大問 ㊩ では、二つの文章を比較し、表現の工夫をまとめようとする態度はみられたが、その効果について自分の考えを記述する力に不十分さがみられた。
- (6) 国語科の指導にあたっては、主体的・対話的で深い学びを実現するため、多様な言語活動を通して、思考力・判断力・表現力等を育み、学びに向かう力を身に付けられるような授業を構想することが求められる。

3 各問題別結果（調査人数 567人）

問 題		得点者の割合 (%)															
		15点	14点	13点	12点	11点	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
一	〔問1〕 漢字の読み書き	①													68.6		31.4
		②													93.1		6.9
		③													67.4		32.6
		④													49.2		50.8
		⑤													97.7		2.3
		⑥													95.2		4.8
		⑦													52.6		47.4
		⑧													71.1		28.9
	〔問2〕 書写														72.5		27.5
	〔問3〕 語彙														86.6		13.4
〔問4〕 古文	(1)													43.2		56.8	
	(2)													80.8		19.2	
二	〔問1〕 語彙と理解													85.4		14.6	
	〔問2〕 理解												14.8				85.2
	〔問3〕 理解と表現									5.8	5.1	4.2	4.6	10.4	6.3	4.2	59.3
	〔問4〕 理解													83.2			16.8
	〔問5〕 理解と表現									19.0	17.3	13.1	9.3	7.9	3.4	2.3	27.7
	〔問6〕 理解											76.4					23.6
三	〔問1〕 語彙と理解													76.7			23.3
	〔問2〕 理解											6.7	9.0	10.8	6.9	5.5	61.2
	〔問3〕 理解													72.5			27.5
	〔問4〕 語彙と理解													66.8			33.2
	〔問5〕 理解と表現								9.5	7.4	9.9	7.9	7.8	4.9	1.6	0.9	50.1
	〔問6〕 理解										86.9						13.1
四	表現	10.4	5.6	10.8	7.1	5.1	6.5	4.8	6.3	7.1	2.8	3.0	2.8	1.8	2.3	0.7	22.9

(注) 得点者の割合 (%) は、小数第2位以下を四捨五入したものであり、合計が100 (%) にならない場合がある。

〔 社 会 〕

1 出題方針

- (1) 出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている各分野全般にわたるよう配慮した。
- (2) 地理的分野では、世界の地理について、世界と日本の関わりを題材に、世界地図の読み取りにおける基本的な事項を理解しているかをみるようにした。また、日本の地理について、日本の工業と環境対策を題材に、工業や自然環境についての基本的な事項を理解しているかをみるようにした。
- (3) 歴史的分野では、日本の歴史と東アジアの関わりや紙幣に描かれた人物を題材に、政治や外交、経済、文化について基本的な事項を理解しているかをみるようにした。
- (4) 公民的分野では、国会の一年の動きやG20サミットを題材に、国会の仕組みや経済について、基本的な事項を理解しているかをみるようにした。また、国際社会における課題について、社会的な見方や考え方が身に付いているかをみるようにした。
- (5) 三分野とも、表や図等を題材とし、資料を読み取る力をみるようにした。また、社会的事象の意味や意義を解釈し、その内容を適切に表現する力をみるようにした。

2 学力検査の結果について

- (1) 本年度の平均点は、43.6点（満点100点）であり、各分野の正答率は、地理的分野59.3%、歴史的分野42.2%、公民的分野46.4%であった。
- (2) 地理的分野では、昨年と比較して全体に正答率が低下した。なかでも日本の工業のようすについて述べた文を年代順に並べ替える問題の正答率が低かった。
- (3) 歴史的分野では、昨年と比較して全体に正答率が改善したが、国家・社会及び文化の発展に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解し、尊重する態度を養うことが求められる。
- (4) 公民的分野では、昨年と比較して全体に正答率が改善した。なかでも、示されたデータを適切に活用し、表現しようとする態度がみられた。
- (5) 社会科の指導にあたっては、社会的・歴史的事象について理解させるとともに、現代社会の課題や取組について興味・関心をもたせることや、歴史についてはテーマ毎の大まかな流れを理解させることが大切である。

3 各問題別結果（調査人数 567人）

問 題			得点者の割合（％）				
			4点	3点	2点	1点	0点
1	〔問1〕	(1)			83.8		16.2
		(2)		68.1			31.9
	〔問2〕			38.1			61.9
	〔問3〕	(1)			58.9		41.1
		(2)	29.1	7.6	23.1	6.2	34.0
〔問4〕			41.1			58.9	
2	〔問1〕				88.9		11.1
	〔問2〕			35.6			64.4
	〔問3〕			45.0			55.0
	〔問4〕	(1)		66.5	6.5	1.6	25.4
		(2)		60.8			39.2
〔問5〕			50.4			49.6	
3	〔問1〕				35.3		64.7
	〔問2〕			40.9	7.1	6.7	45.3
	〔問3〕				56.6		43.4
	〔問4〕			4.2	6.0	27.9	61.9
	〔問5〕				13.8		86.2
	〔問6〕				61.0		39.0
	〔問7〕				44.8		55.2
	〔問8〕				43.6		56.4
	〔問9〕				46.7		53.3
	〔問10〕				5.3		94.7
4	〔問1〕				59.4		40.6
	〔問2〕			10.8	8.6	23.3	57.3
	〔問3〕			37.7	11.6	11.5	39.2
	〔問4〕				47.4		52.6
	〔問5〕			22.8			77.2
5	〔問1〕	(1)			44.8		55.2
		(2)			13.4		86.6
	〔問2〕	(1)			70.9		29.1
		(2)		36.7			63.3
	〔問3〕			37.7	12.5	12.0	37.7
〔問4〕			30.0	26.6	16.0	27.3	
6	〔問1〕	(1)			34.6		65.4
		(2)		51.9			48.1
	〔問2〕				61.2		38.8
	〔問3〕				43.0		57.0
	〔問4〕			24.2	11.1	9.2	55.6
〔問5〕			6.9	1.4	10.1	2.6	79.0

(注) 得点者の割合（％）は、小数第2位以下を四捨五入したものであり、合計が100（％）にならない場合がある。

〔 数 学 〕

1 出題方針

- (1) 出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている各領域、各学年の指導内容全般にわたるように配慮した。
- (2) 「数と式」の領域では、正の数と負の数の四則計算、無理数や文字式の計算、因数分解等についての基礎的な理解力をみるとともに、与えられた条件を連立方程式によって表現し、解法する力や、事象を数理的に考察し、題意に即して処理する能力をみるようにした。
- (3) 「図形」の領域では、投影図を用いて空間図形を考察し、体積を求めるなど図形の計量についての基礎的な理解力をみるとともに、円周角の定理を用いた相似の証明など、思考や推論の過程を論理的に表現する力をみるようにした。また、平行線と線分の比や三平方の定理を活用し、見通しを持って正しく処理する能力をみるようにした。
- (4) 「関数」の領域では、一次関数や二次関数についての基礎的な理解力をみるとともに、座標平面上における図形について、数学的に考察する能力をみるようにした。
- (5) 「資料の活用」の領域では、確率の求め方について基礎的な力をみるようにした。また、ヒストグラムを正しく読み取る能力をみるとともに、代表値を求めるなどの基礎的な力をみるようにした。
- (6) 各領域とも基礎的・基本的な内容の習得ができているかについてみるとともに、問題解決への関心・意欲、数学的な見方や考え方や事象を数理的に考察する能力をみるようにした。

2 学力検査の結果について

- (1) 本年度の平均点は、44.6点（満点100点）であった。
- (2) 「数と式」の領域では、基本的な計算は概ねできているが、無理数についての理解力を問う問題の正答率が低かった。
- (3) 「図形」の領域では、全体的に正答率は高くなかったが、証明問題については、思考や推論の過程を論理的に表現しようとする姿勢がみられた。
- (4) 「関数」の領域では、関数の基礎的な理解力はあるが、座標平面上における図形について、数学的に考察する力に弱さがみられた。
- (5) 数学の指導にあたって、基礎・基本の知識・技能を習得させるとともに、数学的な見方や考え方を働かせた学習活動を通して、種々の事象を、数量や図形の関係に着目してとらえ、論理的、統合的に考えさせる工夫が求められる。

3 各問題別結果（調査人数 567人）

問 題			得点者の割合（％）							
			6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	
1	〔問1〕	(1)	正の数・負の数				98.9			1.1
		(2)	正の数・負の数				76.5			23.5
		(3)	文字の式				91.2			8.8
		(4)	平方根				85.9			14.1
		(5)	式の展開				76.5			23.5
	〔問2〕	因数分解				65.3			34.7	
	〔問3〕	平方根				41.4			58.6	
	〔問4〕	平面図形			60.7				39.3	
	〔問5〕	確率			52.9				47.1	
2	〔問1〕	空間図形			32.1				67.9	
	〔問2〕	(ア)	関数				36.7		63.3	
		(イ)	関数				40.7		59.3	
	〔問3〕	(1)	資料の活用				20.3	8.6	32.1	39.0
		(2)	資料の活用				53.4			46.6
	〔問4〕	連立方程式	14.8	2.1	1.6	5.5	11.3	11.3	53.4	
3	〔問1〕	(1)	(ア)	規則性				96.8		3.2
			(イ)	規則性				88.0		12.0
		(2)	規則性				74.1		25.9	
	〔問2〕	(1)	規則性				57.5		42.5	
		(2)	規則性・二次方程式	16.8	3.2	3.5	4.6	3.2	4.4	64.4
	4	〔問1〕	関数				51.9			48.1
〔問2〕		平面図形			2.1				97.9	
〔問3〕		関数			51.9				48.1	
〔問4〕		関数・平面図形		1.8					98.2	
5	〔問1〕	平面図形				58.9			41.1	
	〔問2〕	平面図形				24.0			76.0	
	〔問3〕	(1)	図形の相似	6.3	1.8	0.7	0.5	4.1	34.2	52.4
		(2)	平面図形		10.9					89.1

(注) 得点者の割合(%)は、小数第2位以下を四捨五入したものであり、合計が100(%)にならない場合がある。

〔 理 科 〕

1 出題方針

- (1) 出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている各分野全般にわたるように配慮した。
- (2) 自然の事物・現象を探究するために必要とされる基礎的・基本的事項についての知識・理解及び科学的な思考力、問題解決能力が身に付いているかをみるようにした。
- (3) 観察・実験を重視し、結果を分析する能力、判断力及び表現力をみるようにした。
- (4) 第1分野では、実験の操作やエネルギー資源について、基本的事項が理解できているかをみるようにした。また、気体の性質、水溶液とイオン及び圧力について、科学的な思考力と分析力、表現力をみるようにした。
- (5) 第2分野では、月の運動と見え方、人の体のつくりと働きについて、基本的事項が理解できているかをみるようにした。また、植物の体のつくり、植物の仲間及び日本の気象と自然災害について、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみるようにした。

2 学力検査の結果について

- (1) 本年度の平均点は、49.4点（満点100点）であった。
- (2) 全般的には、日常で経験する現象についての基礎的・基本的な内容を問う問題の正答率は高かった。一方、適切なものをすべて選んで答える問題の正答率が低く、また、用語や記号で答える問題に比べ、短文で説明する問題や数値を処理する問題の正答率もやや低かった。
- (3) 第1分野では、実験操作の説明や物理的・化学的な事柄・現象に対する基礎的な知識に係る問題の正答率は高かったが、数値を処理したり、実験結果を分析したりする問題や自らの考えを簡潔に表現する問題の正答率は低かった。
第2分野では、植物の生活と種類、気象とその変化に関する基礎的・基本的な用語に係る問題の正答率が高かった。また、植物の葉と根の特徴を図で表現させる問題は正答率が高かったが、図や表から科学的に探究させる問題は正答率が低かった。
- (4) 理科の指導にあたっては、科学的な視点で自然現象をとらえるために必要な基本的知識の理解を、様々な経験や対話的な活動を通して身に付けさせるとともに、科学的な思考を養うような指導が望まれる。観察・実験については、結果を分析して解釈し、自らの考えを表現する力を育成することが大切である。また、物理量の計算については、その物理量の意味を理解し、答えを導き出す計算式を組み立てられる科学的な技能を養うことが求められる。

3 各問題別結果（調査人数 567人）

問 題			得点者の割合 (%)				
			4点	3点	2点	1点	0点
1	〔問1〕	(1)			63.8		36.2
		(2)			78.0		22.0
		(3)			30.0		70.0
		(4)		62.1			37.9
	〔問2〕	(1)			72.8		27.2
		(2)			78.0		22.0
		(3)			34.7		65.3
		(4)	Z 理由			81.7	
			59.1			40.9	
2	〔問1〕				63.8		36.2
	〔問2〕				89.4		10.6
	〔問3〕				81.8		18.2
	〔問4〕				52.9		47.1
	〔問5〕	(1)			55.2		44.8
		(2)			91.7		8.3
	〔問6〕	葉脈のようす			72.3		27.7
		根のようす			75.7		24.3
〔問7〕	記号			26.8		73.2	
	特徴			73.0		27.0	
3	〔問1〕			52.9			47.1
	〔問2〕			28.4			71.6
	〔問3〕				67.9		32.1
	〔問4〕			40.2			59.8
	〔問5〕			41.8			58.2
	〔問6〕			28.4			71.6
	〔問7〕			15.3			84.7
4	〔問1〕				59.6		40.4
	〔問2〕				94.2		5.8
	〔問3〕				31.9		68.1
	〔問4〕			15.3			84.7
	〔問5〕			55.7			44.3
	〔問6〕	(1)			30.2		69.8
		(2)		44.4			55.6
(3)			31.7			68.3	
5	〔問1〕				91.0		9.0
	〔問2〕			24.5			75.5
	〔問3〕			60.3			39.7
	〔問4〕				59.6		40.4
	〔問5〕			48.5			51.5
	〔問6〕				17.3		82.7
	〔問7〕				13.2	11.1	7.1

(注) 得点者の割合 (%) は、小数第2位以下を四捨五入したものであり、合計が100 (%) にならない場合がある。

3 各問題別結果 (調査人数 567人)

問 題			4 点	3 点	2 点	1 点	0 点
			1	〔問 1〕	(1)		
(2)					78.0		22.0
(3)					30.0		70.0
(4)		62.1					37.9
〔問 2〕	(1)				72.8		27.2
	(2)				78.0		22.0
	(3)				34.7		65.3
	(4) Z 理由			59.1			40.9
2	〔問 1〕				63.8		36.2
	〔問 2〕				89.4		10.6
	〔問 3〕				81.8		18.2
	〔問 4〕				52.9		47.1
	〔問 5〕	(1)			55.2		44.8
		(2)			91.7		8.3
	〔問 6〕	葉脈のようす			72.3		27.7
		根のようす			75.7		24.3
〔問 7〕	記号			26.8		73.2	
	特徴			73.0		27.0	
3	〔問 1〕			52.9			47.1
	〔問 2〕			28.4			71.6
	〔問 3〕				67.9		32.1
	〔問 4〕			40.2			59.8
	〔問 5〕			41.8			58.2
	〔問 6〕			28.4			71.6
	〔問 7〕			15.3			84.7
4	〔問 1〕				59.6		40.4
	〔問 2〕				94.2		5.8
	〔問 3〕				31.9		68.1
	〔問 4〕			15.3			84.7
	〔問 5〕			55.7			44.3
	〔問 6〕	(1)			30.2		69.8
		(2)		44.4			55.6
(3)			31.7			68.3	
5	〔問 1〕				91.0		9.0
	〔問 2〕			24.5			75.5
	〔問 3〕			60.3			39.7
	〔問 4〕				59.6		40.4
	〔問 5〕		48.5				51.5
	〔問 6〕			17.3			82.7
	〔問 7〕			13.2	11.1	7.1	68.6

(注) 得点者の割合 (%) は、小数第 2 位以下を四捨五入したものであり、合計が 100 (%) にならない場合がある。

〔 英 語 〕

1 出題方針

- (1) 出題の範囲は、中学校学習指導要領に示されている内容全般にわたるように配慮した。
- (2) 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度が身に付いているかをみるようにした。
- (3) 題材については、生徒にとって身近なものを使用し、取り組みやすい内容とした。和歌山の食材を使った学校での料理コンテストに参加したこと、祖母と過ごすなかで、水を大切にすることや地球環境の保全に思いを巡らせたこと、サイクリングで和歌山を旅するオーストラリア出身の青年との出会いから、困っている外国人を支援する大切さを学んだこと等の内容を取り上げた。
- (4) 「音声」の領域では、身近な場面についての基礎的な対話文を聞いて理解する力をみるとともに、まとまりのある文章を聞いて、その要点を聞きとる力をみるようにした。
- (5) 「理解」の領域では、英文の内容について、その概要や要点を読み取る力、話の流れを筋道立てて理解していく力が身に付いているかをみるようにした。
- (6) 「表現」の領域では、与えられた身近なテーマについて、自分の考えを30語以上の英語で自由に表現させることにより、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や自己表現力が身に付いているかをみるようにした。

2 学力検査の結果について

- (1) 本年度の平均点は、53.7点（満点100点）であった。
- (2) 「音声」の領域では、7割以上の正答率が得られた問題が多く、概ね良好であった。場面や代名詞を適切にとらえる必要がある問題では正答率がやや低く、課題が残った。
- (3) 「理解」の領域では、英文の概要や要点を読み取る力は概ね良好であるが、適切に文脈を読み取ったうえで、短い英文で表現する力や日本語で記述する力に課題がみられた。
- (4) 「表現」の領域では、英語で積極的にコミュニケーションを図り、自分の考えを自由に表現しようとする態度はみられたが、指定された条件に従い、与えられたテーマについての的確に表現する力は、受検者の間に大きな差がみられた。
- (5) 英語の指導にあたっては、言語や文化に対する理解を深めるとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることが求められ、日常の授業において、この4技能をバランスよく育成する必要がある。

3 各問題別結果（調査人数 567人）

問 題				得点者の割合（％）											
				10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	
1	〔問1〕	No. 1	リスニング									89.2		10.8	
		No. 2										94.9		5.1	
	〔問2〕	No. 1	リスニング									74.1		25.9	
		No. 2										66.5		33.5	
		No. 3										81.1		18.9	
	〔問3〕	No. 1	リスニング									95.9		4.1	
		No. 2										72.5		27.5	
		No. 3										75.7		24.3	
		No. 4										75.3		24.7	
		No. 5										79.4		20.6	
2	〔問1〕		内容理解									78.1		21.9	
	〔問2〕		内容理解							48.3	0.7	21.7	13.8	15.5	
	〔問3〕		条件作文							18.3	10.8	8.1	1.8	61.0	
	〔問4〕	(1)	条件作文									43.2	9.7	6.0	41.1
		(2)	内容理解									63.5			36.5
3	〔問1〕		条件作文							31.6	13.6	7.2	6.7	40.9	
	〔問2〕	A	内容理解									52.7		47.3	
		B									63.8		36.2		
	〔問3〕		対話文完成									33.5		66.5	
	〔問4〕		内容理解							19.8	15.2	9.7	4.9	50.4	
4			自由作文	5.3	6.0	10.4	6.9	9.5	9.5	7.8	8.3	7.1	4.4	24.9	
5	〔問1〕	㉑	語整序									63.3		36.7	
		㉒										70.5		29.5	
	〔問2〕		内容理解									66.0		34.0	
	〔問3〕		内容理解									14.8	16.2	13.4	55.6
	〔問4〕	(1)	英問英答									18.7	22.2	8.3	50.8
		(2)										49.0	13.4	2.8	34.7
	〔問5〕		内容理解									41.6		58.4	
	〔問6〕		内容理解					14.6	6.9	9.2	4.6	8.5	1.9	54.3	
〔問7〕		条件作文							9.5	11.6	7.9	3.2	67.7		

(注) 得点者の割合（％）は、小数第2位以下を四捨五入したものであり、合計が100（％）にならない場合がある。